

ホームID	ホーム名	法 人 名	評価日
2809	ウェルエイジみぶ	株式会社 京都壬生苑	H29.1.16
評価機関	特定非営利活動法人あい・ライフサポートシステムズ		H29.1.16

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	B	B	2.3.7	C	A	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	B
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	A	B
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	B	B	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	B	B	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	B	4.1.2	A	A	7.4.4	B	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	B	A	7.6.2	A	A
2.2.11	B	B	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	A	A	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	B	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所 見
1－4－ 2 1－4－ 3 1－4－ 4	職員のスキルアップや、やりがいを醸成すること、又職員が目標意識を持つて職務に精励することはホームの安定的な運営を行う上で極めて重要な要素となります。今年度、社労士の指導のもと、約一年をかけてキャリアパス基準を完成させています。このキャリアパス基準に基づき、全ての職員がそれぞれの段階に応じて求められる能力や役割を認識すると共に、それぞれが目指すべき目標を具体化しやすくなり、個々のモチベーションの維持向上に繋がることが期待されます。又、このキャリアパス基準は人事考課とも連動し、より公平な評価となるようにも努めています。このキャリアパス基準の策定は、当該ホームにとつては永年の懸案事項であり、事案に対して大きく改善されたことを評価させて頂きます。
2－4－6	ホームの防災計画に基づく防災訓練を定期的に実施しています。定期的な消防訓練は敷地内にある4事業所（お寺、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、保育園）との合同による訓練を年2回実施しています。その際には、地域の消防団も参加しており、いざという時の大きな支援となる地域との連携がはかられています。又、夜間を想定した訓練も3年ぶりに28年9月に実施。さらには、今年1月20日に地震・水害を想定した訓練も実施されており、防災に対する日頃からの備えの姿勢が伺えます。
5－1－ 1 5－1－ 2	朝・昼・夕の3食ともA・B2種類（主に和洋の2種類）の選択メニューを提供しています。食事に関する入居者のニーズの把握は、入居者との話し合いの機会を設定したり、運営懇談会、更には毎日の食事の場に職員が付き添う中で情報収集に努めています。又、毎月1回のお誕生日会には特別のメニューとプレゼントにてお祝いをしたり、春・秋の行楽シーズンには、リハレクとしてお弁当持参でバスで外出するなど、食事を楽しむ取り組みを行っています。一方で、外出が難しい方には松花堂弁当で施設の中でも季節感を味わえるよう支援しています。その他にも節分には豆の代わりにぼうろを提供する等、季節や行事毎に趣向を凝らしながら「食」への変化をつけています。
6－2－1	「入居者の皆様が健康で快適な生活を送って頂けるよう、職員自らの社会的使命、専門的役割を自覚してサービスを提供します」という事業所の理念のもと、入居者ファーストの支援が実践されています。計画作成担当者が、入居者一人ひとりの生活歴やADL情報を収集した上で、その方に合わせた個別のケアプランを作成し、スタッフ一丸となって個別ケアを大切にした支援を行っています。また、入居者一人ひとりの残有機能を生かした介助方法をプランに盛り込み、統一したサービスが提供できるよう、申し送りノートや直接口頭にて職員に周知するなど、木目細かな対応がなされていることが記録で確認出来ました。さらに、毎月のモニタリングだけではなく、随時居室を訪問することで入居者の状況把握に努めています。診療所が併設され、看護師が24時間常駐している強みを生かし、定期以外にも必要に応じ担当者会議を行いプランに反映し支援につなげています。
4－1－4	年3回開催される運営懇談会や、ご意見箱に寄せられた要望を元に外部からのサービスメニューの充実に取り組んでいます。外出が難しい方の為に、訪問理美容サービスの他、お菓子、果物、衣料品などの生活必需品の移動販売を、ホーム内共用場所を活用しながら実施しています。この移動販売は、入居者にとって買い物を楽しむという側面もあり、日々の生活に変化をもたらすものとして好評を得ている様子が伺えます。また、確定申告のお手伝いや、成年後見制度の活用など様々な相談にも丁寧に対応しています。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所 見
6－3－3	第三者評価の前回受審が5年前となっています。ホームが自ら提供するサービスの質の向上は、ホーム運営上の不断の努力の積み重ねと同時に、第三者による新たな目線での評価が大切です。こうした第三者によるサービス評価の重要性を認識されながら、定期的な受審がなされていませんでした。今回の受審をきっかけに、3年に1回の定期的、計画的な受審に心掛け、サービスの更なる質の向上と利用者満足度の向上につなげられることを期待します。